

世界有数のジュエリー集積産地

山梨日日新聞

2025(令和7)年
夏号
発行所 山梨日日新聞社

甲府市特別企画

ふるさと納税
特別号外

水晶加工の技術受け継ぐ

甲府市を代表する地場産業のジュエリー。その歴史は、市北部の金峰山一帯で水晶が多く産出されたことに始まる。以来、宝石研磨、水晶美術彫刻、貴金属加工の伝統技術を継承。企画、デザインから原料の調達、研磨、彫刻、貴金属加工、そして流通まで、ジュエリーを完成させる全ての工程がそろった集積産地として発展した。現在も「宝石のまち甲府」として、伝統的な技術を守りながら、新しい技術やデザインを取り入れ、グローバルな市場にも対応したジュエリー生産地として進化を続けている。

山梨県の宝飾産業は、製造事業者数、付加価値額、製造品出荷額で国内トップシェアを誇る。2022年経済構造実態調査によると、県の宝飾品製造事業者数は、日本全体の約29%を占め、全国最多。このうち、甲府市の事業者が9割以上を占めるとされている。宝飾産業の歴史は、金峰山一帯を中心に水晶が産出されたことから興り、江戸時代末期に水晶研磨加工と貴金属工芸が始まった。明治中期には、市場性の高い製品作りが盛んになり急速に成長。戦後、

宝飾研磨の世界的な産地となり、現在は世界的にも珍しいジュエリーの集積産地に発展した。国内や国際競争力を高めるため、2008年には甲府市内のジュエリーメーカーが中心となり、産地ブランド「Kooofu(クーフー)」を立ち上げた。「自然で繊細な優美」をテーマに、地金素材の開発からデザイン、加工技術まで、山梨の技術を結集して作られている。19年には協同組合山梨県ジュエリー協会が産地をアピールするた



就任!
甲府ジュエリーアンバサダー
MINAMI
SNS総フォロワー500万人を超えるインフルエンサーで、ファッションイベント「東京ガールズコレクション(TGC)」などに出演。2024年7月から「宝石のまち甲府」をPRするプロジェクトのアンバサダーを務めていて、現在2期目。県内在住。18歳。

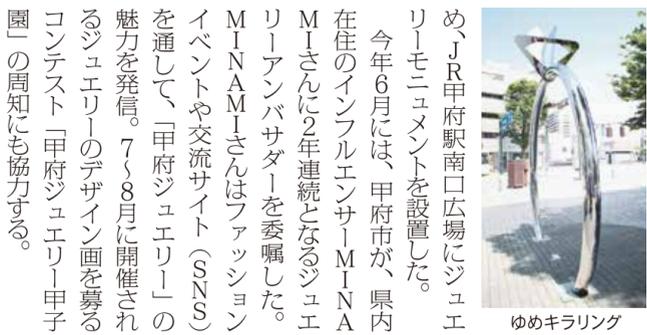
総合商社 樋口社長に聞く



ジュエリーが地場産業として盛んな甲府市で総合商社として半世紀以上続く樋口(同市上石田)。仕入れ、製造・企画・デザイン、卸、小売りまで一貫した事業展開をしている同社の樋口勇人社長に写真に事業内容や経営方針などを聞いた。

顧客に合わせた商品提案

一沿革や事業内容は。創業は1972年。2代目を2007年に継いだ。もともとメンズの装身具から立ち上がり、私が代表になってからは基本的にダイヤモンドとコインが主力。中でも最近は、品質の高いダイヤに絞っている。一経営方針や最近の傾向は。良い商品をお客さまのほしい値段で作って販売するというのが、創業時から基本的な考え。今は異業種との取引が多く、企画商品としてお客さまに合わせて提案するスタイルが主流になってきている。一商品の売れ筋やこだわりは。ふるさと納税返礼品の主力はダイヤ。一個石や一文字系ペンダント、馬蹄、ハートなど、定番がよく出ている。クレームゼロを目指していて、注力しているのが検品。機械も使い、1日数時間かけて検品している。一課題や今後の抱負は。業界内で生き残っていくには小売りへの移行が課題だと思っている。また、職人がいなくなったら商品が作れないので、職人を育てていかなければならない。メイドイン山梨の商品を世界に発信していくことに業界あげて力を入れていきたい。



ジュエリー返礼品 人気ランキング

寄付金額5万円以下

3	10金 イエローゴールド製 1粒ダイヤモンド 0.08ct プチネックレス
4	K18PG ピンクゴールド 曲線ピアス
5	K18YG 地金 手作り 大ぶりイヤークフ ジュエリー2連サークル
6	プラチナピアス
7	10金 ホワイトゴールド製 1粒ダイヤモンド 0.08ct プチネックレス
8	10金 ホワイトゴールド製 ダイヤモンド 1粒 スタッドピアス Total 0.10ct
9	プラチナ クロッシングピアス
10	[L&Co.] K10 クロスリング

No.1 K18 曲線ピアス

No.2 K18 クロッシングピアス



甲府市って
どんなところ?
甲府市は、山梨県のほぼ中央にあり、細長い形をしています。面積は212.47平方kmで、南北の山の間にある平らな土地は「甲府盆地(こうふぼんち)」と呼ばれています。市街地は甲府盆地の中心にあり、市内には荒川が流れ、御岳昇仙峡(みたけしょうせんきょう)や芦川溪谷(あしがわけいこく)といった豊かな自然に恵まれています。

甲府市
ふるさと納税課 Tel.055-237-5328

全国大会 宝石のまち甲府 甲府ジュエリー甲子園 2025

「宝石のまち 甲府」の魅力や甲府ジュエリーの技術力を全国にPRできるジュエリーのデザイン画を募集します

2025 7/22(火) 応募期間 8/31(日) 必着

デザインテーマ 甲府をイメージしたペンダントトップデザイン

2024年最優秀賞作品
最優秀賞 1名
ふるさと納税返礼品として実作品化
デザイン画を実作品にして贈呈

2024年の最優秀賞には
甲府東高校の光安舞桜さんの作品
「Wine is dancing! ワインイズダンス」
が選ばれました!

若い想像力や才能を伸ばし、次世代の担い手となる人材を一人でも多く育成できるようにという思いと、「宝石のまち甲府」をもっとPRするために開催しました!

山梨県甲府市は2024年10月26日、「第34回甲府大好き祭り」において、「宝石のまち甲府 ジュエリー甲子園2024」の決勝大会と授賞式を開催しました。2024年7月24日～8月31日にかけて甲府をイメージしたペンダントトップのデザインを募集。期間中に全407作品の応募作品が寄せられました。その中から、決勝に進んだのは上位5作品です。特設ステージ上では、決勝に進んだ学生たちが審査員を前にプレゼンテーションを行い、テーマ性、デザイン力、企画プレゼン力の3項目を競い合いました。

シャイン 根強い人気

露地 全国で最も早く出荷

甲府市産のシャインマスカットは、ブドウの生産量日本一の山梨県の中でも人気があり、ふるさと納税の返礼品としても注目されている。観光農園自体の件数は少ないが、それぞれの農園がこだわってフルーツを栽培している。

甲府市のブドウ栽培の歴史は古く、江戸時代に栽培の記録が残っている。現在の市内の産地は甲府盆地中央部で、旧里垣、旧玉諸、旧甲運の二帯。生育期間の平均気温は20度と高く、収穫も早い。日照時間も長く、昼夜の寒暖差が大きい。そのため、甘くて濃厚な味わいのフルーツが育つ。

2024年度の主要農産物等販売実績によると、甲府市全体のシャインマスカットの栽培面積は27.2ha、出荷量は407.3トン、出荷額は9億4704万1590円。ブドウ品目の中ではいずれもトップ。23年度に比べ、出荷量は16.0%増、出荷額は18.4%増えている。



甲府市産シャインマスカット



ふるさと納税返礼品には農場での体験型もある

温は20度と高く、収穫も早い。日照時間も長く、昼夜の寒暖差が大きい。そのため、甘くて濃厚な味わいのフルーツが育つ。

2024年度の主要農産物等販売実績によると、甲府市全体のシャインマスカットの栽培面積は27.2ha、出荷量は407.3トン、出荷額は9億4704万1590円。ブドウ品目の中ではいずれもトップ。23年度に比べ、出荷量は16.0%増、出荷額は18.4%増えている。

4代にわたって甲府盆地で農業を営む古谷葡萄園(甲府市蓬沢)。米麦・養蚕農家から転換し、1959年以來ブドウを栽培している。シャインマスカットをメインに、新品種の試験栽培にも意欲的に取り組んでいる。直営のカフェを併設している。

代表の古谷崇さんは大学入学以來山梨を離れていたが、10年前に帰郷して就農。妻朋美さんも同時に甲府市へ転居した。販路開拓にも取り組んでおり、中でも「ふるさと納税」に積極的な出品している。「基本的にクレームゼロを目指している。いかに品質の高いものを喜んで受け取ってもらえるか」ということこだわっている」と強調する。

畑は近隣7カ所に点在し、栽培面積は計1.1ha。中でも、先代から約50年続いている草生栽培が目を引く。下草は雑草ではなく、ライ麦をまいて活

古谷葡萄園

栽培に工夫、カフェ併設 豊かな食生活へ情報発信



古谷崇さん、朋美さん夫妻

用している。「草生栽培は夏の地温上昇を抑えることができ、果樹の育成を助ける。緑肥にもなるし、ライ麦は根が深く入り込むため根耕による土壌改良も期待できる」と説明する。

同園では、剪定枝をチップにして畑に戻すやり方で、土壌中の炭素量を毎年0.4%増やして二酸化炭素排出量を実質的に減らす「4パーミルイニシ

アチアチ」にも取り組む。チップをまくのは畑の際1m幅で、草抑えとなるため除草剤を使わなくて済むという。

シャインマスカットの糖度は18度を基本とし、「糖度検査をして必ず甘いというのを売りにしている」とPR。そのための房数調整や一房を若干小さくするなど、全体のバランスを見極めながら手間暇かけて栽培している。

カフェは3年前にオープン。パフェやゼリーなど、旬のフルーツを随時加工し提供している。ふるさと納税の返礼品では、新たな試みとして今年からブドウ園のオーナー制度も始めた。また、農業に関心を持ってもらうようと、ブドウ園経営について楽しみながら疑似体験できるカードゲームを独自に開発、普及に努めている。

古谷さんは、農業と食の価値向上も業務と位置付けている。「農家側から情報発信することで、皆さまの食卓、食生活が豊かになるような取り組みをしていきたい」と力を込めた。



人気ナンバーワンアイス「チョコバッキー」



上質な素材にこだわったプレミアムアイス



糖質70%カットのアイス

甲府市産シャインマスカットの強みは、露地ブドウとして出荷が全国で一番早いエリア。収穫は8

月上旬ごろから始まり、お盆期間の中旬ごろに本格化。9月上旬ごろまで続く。県内の他産地に比べ

ると、房の大きさは「バックサイズ」といわれる、やや小ぶりの400g程度が主流となっている。

シャトラーゼのアイス 品数豊富「おいしく安い」

夏といえば、暑さを和らげる定番のアイス。菓子の製造小売業としては日本最大規模を誇る「シャトラーゼ」(甲府市下曾根町、古屋勇治社長)はアイスのリーディングカンパニーでもある。楽天ふるさと納税のスイーツランキングでは、しばしば同社のアイスがベスト3入りするなど、人気が高い。同社は国内に865店舗を展開している。アイスは北杜市の白州工場と、甲府市の本社に隣接する中道工場で製造。甲府市はふるさと納税で、相互に共通返礼品を提供するため、北杜市と中央市で協定を結んでいる。

平均の人気ランキングは、「チョコバッキー」シリーズがトップ。次いで「八ヶ岳南牧村契約牧場しぼりたて牛乳アイス」(2位)、「ラムネアイスバー」(3位)と続く。一方、通販では、人気アイスを集めたバラエティーボックス、高価格帯のプレミアムカップアイスのセットが売れ筋という。

同社は「自然のおいしさ。人を想うおいしさ」のスローガンを掲げ、厳選した新鮮素材と素材を最大限に生かす製法により、安全・安心でおいしいお菓子作りに取り組んでいる。アイスでは、名水百選に選ばれている白州名水を使うなど、山梨の自然を前面に出した商品展開もしている。

「人を想う」のスローガンの一環として注力しているのが機能性商品だ。乳・卵・小麦不使用のアレルギー対応ケーキや、糖質カットアイスなどを開発、販売している。

楽しさが凝縮

シャトラーゼブランド統括室・中島史郎室長の話「アイスは溶けてしまったため、お菓子の中でも消費する時間は短い。ただ、その短い時間にワクワクする楽しさなどが凝縮されている特別感がある。約100種類のアイスから、まだ発見できていない、あなたに合う一品が必ずあるはず。ぜひそれを見つけていただきたい。」

甲府城南側の新しい城下町

小江戸甲府 花小路

甲府城の城下町を現代風に再現した「小江戸甲府花小路」。灯籠や石畳の路地など、江戸時代を感じさせる建物に令和の感覚を取り入れた存在感のあるまちなみには山梨の産業や食材を活かした店舗や飲食店が並び、甲府ならではの魅力を堪能できます。

甲府市丸の内1丁目11-6
営業時間・休業日など、詳しくは各店舗にお問い合わせください

交流と新しい文化がうまれる場所

こうふ 亀屋座

「華やかなりし小江戸文化を中心にこうふの歴史・文化を感じ、交流し、つないでいく歴史文化交流施設」をコンセプトとし、江戸時代に実在した芝居小屋「亀屋座」をモチーフにした施設です。寄席や演芸などの観賞や、歌や踊りなどの発表はもちろん、セミナーや講演会などにご利用いただけます。

甲府市丸の内1丁目11-5 Tel.055-267-8460
〈開館時間〉9:30-18:00 〈休館日〉毎週火曜日

甲府の歴史はここから始まった

信玄ミュージアム

国史跡武田氏館跡に関わる歴史や史跡の見どころを紹介するガイダンス施設。展示室は、歴史に詳しくない方でも気軽に戦国大名武田氏がくらした館の歴史や概要を知ることができる常設展示室と、出土品などから、より専門的に歴史を学べる特別展示室があります。

甲府市大手3丁目1-14 Tel.055-269-5030
〈開館時間〉9:00-17:00 〈休館日〉毎週火曜日

甲府に来たら 寄ってけし オススメ観光情報

信玄ミュージアム 観覧料無料券 (有効期限) 令和7年9月31日まで